

# 森林官からのあたり

東京神奈川森林管理署 高尾森林事務所 森林官 関 清 孝

「高尾」と聞くと研修所を思い浮かべる方も多いかと思いますが、高尾駅から研修所に向かう途中に高尾森林事務所はあります。

管轄する国有林の面積は約1,200㌔で、スギ・ヒノキを中心とした人工林が約8割を占めています。また高尾山を中心に約770㌔が「明治の森高尾国立公園」に指定されており、このうち約450㌔が国有林です。その他の国有林も「高尾陣馬都立自然公園」の指定を受けており、年間の利用者は250万人とも300万人とも言われています。

高尾山には約1,600種の植物が自生していると言われており、都心から近く比較的気軽に登れる山ということもあって、リピーターや口コミ等で年々その数も増えてきているように思われます。

また、平成19年から連続してミシュランの旅行ガイドブックで「三つ星の山」と評価されたことで、最近では特に外国の方の姿を多く見るようになりました。反面、安易なでたち（革靴やハイヒール、サンダル等）で登る方も多く見受けられ、山岳救助隊のお世話になる方も後を絶たない状況にあります。



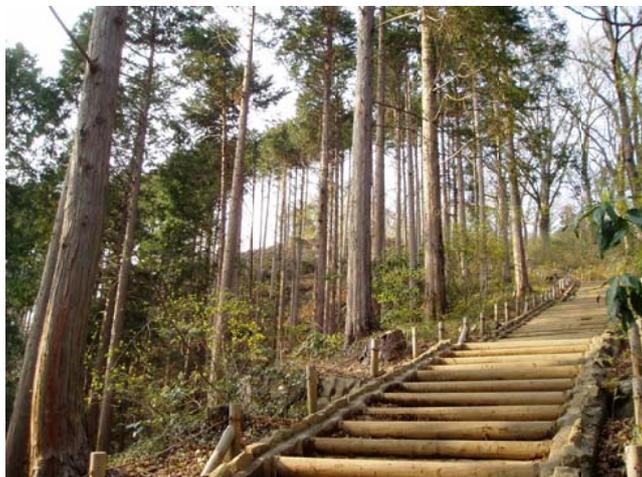
天候に恵まれた休日の高尾山頂



景観伐採後、一丁平から富士山を望むハイカー



高尾山から見えるダイヤモンド富士



景観伐採により整理された林内

当事務所は管理面積は比較的少ないのですが、通常業務以外に、地元住民や自治体、各種団体などとの対応が非常に多く、過去の森林官もさぞかし苦労が多かったのではないかと思います。昨年12月に森林官になったばかりの駆け出しですが、いつまでも初心を忘れず迅速な対応を心がけ、署との連携や関係機関との連絡調整などタイムリーな対応を行っていきたいと思っています。

国有林では、平成18年度から3ヶ年で、ハイカーの多い高尾山山頂から小仏城山の稜線部を中心に、富士山の展望を確保するなど、景観に配慮した高齢級間伐を実施してきました。これまで陽が当たらず薄暗かった歩道も今では見違えるほど明るくなり、多くのハイカーから好評を得ています。

また、平成18年度からスタートしたグリーン・サポートスタッフの4名が、ハイカーの多い土日祭日を中心に巡視にあたり、マナー向上に対する活動やコース・植物案内など広範囲にわたってPRに努めています。



活躍しているグリーン・サポートスタッフの皆さん